



生徒の自立を育み、信頼される学校の創造

子ども一人一人が自分の良さや可能性を自認していけるような
学習活動づくり、人間関係づくり、環境づくり

【不登校支援】

- 学びの支援コーディネーター、各学年の相談支援係による、より細やかな対応の実施
- 相談支援係による、担任、学年、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、相談支援パートナー、学びのサポーター、保護者との連携強化
- 心配な生徒についての休み始めの段階での迅速な対応
- サポートシートの作成と活用
- 相談室への登校、特定の教科の授業への参加、行事や部活動への部分的な参加
- 定期テスト、学力テスト等の別室受験の実施
- 1人1台端末を活用した学びの確保と学校とのつながりの構築
- 小学校との情報共有
- 自分に自信をもたせるきめ細やかな指導の充実

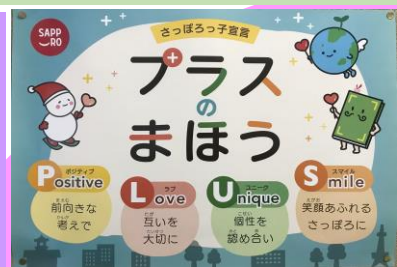
【命を大切にす指導】

- 道徳、保健体育を中心として教科・領域を横断した指導や日常の取組を通じた、あたたかい心をもって、全ての人を大切にす心の育成
- 感性に働きかける体験、感動の体験、想像力を刺激される体験を通じた、「命の大切さ」の実感
- 生徒一人一人の自尊感情を高める取組（自分や他者のよさの相互理解と認め合い）
- 「性」に関する講演会 ○「命の大切さ」に関する集会
- 夏休み明けの「命を大切にす指導の徹底（通知の活用）」
- 自傷行為をする生徒に対する丁寧な対応
- 状況に応じたさっぽろ子どものこころのコンシェルジュ事業へのつながり
- SOSを出しやすい環境づくりの推進

子どもは、どの子もよさや可能性をもっています。他者との比較ではなく、その子自身の成長を認めていくことが大切です。子どもに寄り添い、伸びを認め、意欲を高める共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促していきます。

【いじめ対策】

- いじめは絶対に許さないという共通理解と、迅速かつ適切な対応
- いじめ防止基本方針の確認と見直し
- いじめ防止に関する共通理解
- いじめに関して配慮を要する生徒の共通理解研修
- いじめの実態に対しての情報共有
- 生徒理解に関する講演会
- いじめ防止に係る学年や生徒会による取組・啓発活動
- 小学校との情報共有



さっぽろっ子「学び」の
スツメの活用
学校・家庭・地域
が一体となって、
豊かな心の育成
を図っていく



「小中一貫した教育」 に向けた取組

小学校訪問による児童への中学校生活のガイダンスの実施、小学校との情報の共有、小中一貫教育コーディネーターとの連携



適切かつ迅速な実態把握

- ・悩みやいじめに関するアンケート調査
- ・学校生活に関するアンケート(年2回)
- ・教職員のアンテナ感度と見取る目の向上 ・シャボテン

直接生徒の声を聴く確認する

- ・生徒が相談できる、申し出ることができる雰囲気と風土づくり
- ・教育相談（年2回）

適切かつ迅速な情報共有

- ・必要な情報を必要な範囲で情報共有

家庭との連携

- ・保護者との連絡・相談
- ・家庭訪問 ・期末懇談

特別の教科 道徳

- ・道徳による自立した人間として他者とよりよく生きるための基盤となる道徳性の涵養

校内組織の活用

- ・学びの支援委員会
- ・養護教諭（保健室）との連携
- ・SC、SSWとの面談（保護者も含む）
- ・相談室の活用
- ・いじめ対応委員会